授業科目名・形態	セイフティマネジメント　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	日沼　ゆかり	実務経験の有無	有	開講期	３年後期
科目ナンバリング	N7-3001				

【授業の主題】

医療に携わる職業人として「医療にかかわる人々が、円滑なコミュニケーションをとり安全な医療を提供する環境を整えて質の良い安全な医療を患者、家族に提供できる能力を養う。

【到達目標】

１．リスクマネジメントを含む医療安全の基本的な考え方と看護の役割について理解する。
２．看護職の法的規定と医療安全が理解できる。
３．国・看護職団体などの医療安全の取り組みが理解できる。
４．ヒューマンエラーのメカニズムの人間の基本特性とエラーを誘発しやすい環境との関係が理解できる。
５．医療・看護の業務におけるコミュニケーションの重要性を理解できる。
６．チームで取り組む医療安全の醸成が理解できる。
７．在宅看護における医療事故と安全対策が理解できる

【授業計画・内容】

第１回　医療安全と看護の理念
第２回　医療安全への取り組みと医療の質の評価
第３回　医療事故のメカニズムとリスクマネジメント
第４回　チームで取り組む安全文化の醸成
第５回　看護業務に関連する事故と安全対策
第６回　看護業務に関連する事故と安全対策在
第７回　宅看護における医療事故と安全対策
　　医療従事者の安全を脅かすリスクと対策
第８回　看護学生の実習と安全・KYT（グループワーク）

【授業実施方法】

主に講義形式で行います。第８回目の授業では、KYT（危機予知トレーニング）を行い、小グループ検討（ブレンストーミング）、事例学習（ケースメゾット）を行い危険感受性の向上、問題解決能力の育成、安全意識の定着を目指し事故や労災の未然防止を身につけます。また、学習した医療安全、感染予防対策などの知識を統合実習Ⅰへ活かせるように課題レポートへ取り組みます。

【事前・事後学習】

レポート作成、課題学習、試験対策を含めトータルで30時間以上の自主学習を行う事
予習、復習には、内容に合わせて教科書のメディカARの画像の活用も行い知識を深めてください。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理」「看護コミュニケーション」「基礎看護技術論　Ⅰ・Ⅱ」「看護過程論」等看護領域全体
「感染と免疫」「薬理学概論」

【教科書等】

松下由美子：ナーシング・グラフィカ　看護の統合と実践　医療安全　MCメディカ出版

【参考文献】

杉山良子：ナースのための危険予知トレーニングテキスト
川村治子：系統看護学講座　専門分野　看護の統合と実践【2】医療安全：医学書院
川村治子：医療安全ワークブック第５版：医学書院
山内豊明　荒井有美：看護学テキスト医療安全改定第２版：南江堂

【成績評価方法】

筆記試験80%、課題レポート10%、グループワークの協調性、積極性、知識拡大への貢献等10%を総合評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

二次医療圏の医療センターで、認定看護管理者、医療安全認定管理者等の資格を持ち病院組織の管理者としてトップマネージメント等の経験があります。医療安全管理者の知識を活かし、臨床の実際事例とつなげながら、少しでもわかりやすい授業とします。

【学生へのメッセージ】

「人は誰でも間違える（ヒューマンエラー）」という意識のもとに「確認の徹底」の大切さが医療安全につながる事を学び危機管理能力を学生の今から身につけましょう。